

公 表 日
令和 年 月 日

## 随意契約結果及び契約の内容

業務の名称	令和4年度阿蘇砂防事業効果検討外業務
業務概要	別紙のとおり
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 九州地方整備局 阿蘇砂防事務所長 吉田 桂治 熊本県熊本市東区下南部1-4-73
契約年月日	令和 4年 4月25日
契約業者名	令和4年度阿蘇砂防事業効果検討外業務砂防・地すべり技術センター・砂防エンジニアリング設計共同体
契約業者の住所	東京都千代田区平河町2-7-5
契約金額	44,968,000円(税込み)
予定価格	44,968,000円(税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業務場所	阿蘇砂防事務所管内
業種区分	土木関係建設コンサルタント業務
履行期間(自)	令和 4年 4月26日
履行期間(至)	令和 5年 2月28日
備考	

公表対象随意契約が単価契約である場合には、契約金額欄に契約単価を記載するとともに、備考欄に単価契約である旨及び契約単価に予定調達数量を乗じた額を記載する。

## 契約理由書

1. 業務件名 令和4年度阿蘇砂防事業効果検討外業務  
2. 履行場所 阿蘇砂防事務所管内  
3. 契約の相手方 令和4年度阿蘇砂防事業効果検討外業務砂防・地すべり技術センター・砂防エンジニアリング設計共同体  
住所：東京都千代田区平河町 2-7-5  
会社名：一般財団法人砂防・地すべり技術センター  
電話：03-5276-3275（火山砂防部）03-5276-3272（砂防部）

4. 契約適用法令：会計法第29条の3第4項及び  
予算決算及び会計令第102条の4第三号

5. 当該業務の目的・内容及び契約に付する理由

1) 当該業務の目的

本業務は「阿蘇山直轄砂防事業」の事業再評価について費用対効果を分析するとともに、豪雨による土砂・洪水氾濫について国総研資料（第874号、第1048号）に基づく最新の土砂動態解析による被害想定を実施するものである。

2) 業務の内容

砂防調査	・・・1式
計画準備	・・・1式
資料収集	・・・1式
基本事項の整理	・・・1式
施設配置計画（事業計画）の更新	・・・1式
費用の算出	・・・1式
土砂洪水氾濫区域の設定	・・・1式
便益の算出	・・・1式
費用対効果分析	・・・1式
計算モデルの準備	・・・1式
土砂・洪水氾濫計算による白川流域の被害想定	・・・1式
土砂・洪水氾濫計算による黒川流域の被害想定	・・・1式
流域特性に基づく白川・黒川の整備目標検討	・・・1式
報告書作成	・・・1式

3) 契約に付する理由

本業務の契約方式は、技術提案の公募を行い、提案のあった内容を総合的に評価し、契約の相手方を特定するプロポーザル方式である。

参加可能業者が最低20者あることを確認の上、技術提案書の提出を公募したところ、申請期間内に電子入札システムを通じ業務説明書を22者入手（ダウンロード）し、2者から参加表明書が提出され、2者が参加資格を有していた。

参加資格を有する参加表明書提出者のうち2者を技術提案書の提出者として選定し、2者から技術提案書が提出された。

建設コンサルタント業務等請負業者選定事務処理要領及びプロポーザル方式による建設コンサルタント等の特定手続きにより技術提案書を審査した結果、契約の相手方は、本業務を遂行するために必要な配置予定技術者の資格及び実績等、配置予定技術者の成績及び表彰、実施方針及び特定テーマに係る技術力を備えていると判断される。

特に評価テーマの「阿蘇山直轄砂防事業における実施状況を踏まえた費用対効果分析を行う際の留意点について」に対する技術提案について着眼点、問題点、解決方法等が的確かつ理論的に整理されており、本業務を遂行するにあたって最も優れた提案が行われていたものである。

よって、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第三号により、上記契約相手方と契約を締結するものである。

（契約理由書作成者）阿蘇砂防事務所 調査課長